

JAL争議支援 千人の熱気

勝利へのトランジットコンサート

JAL争議支援勝利へのトランジットコンサートを成功させる会

(青柳義則代表)は4月25日、東京・北とぴあで「4・25 JAL争議支援大集会/勝利へのトランジットコンサート」を開催した。



1000人の熱気、団結ガンパロ

ー利へのトランジットコンサート」を舞台と会場が一体オンライン参加者(YouTubeで同時配信)も含めて1000人超の参加で熱気ある集会となった。

集会は、130

人の合唱団の11曲の歌とナレーションによる創作劇が始まり、解雇予告がされた時から今日までのできごとがテレビでよく再現され、決への意気があがった。

組合旗63本林立

トランペットに合せて、組合旗を持って次々と舞台上がる人達、壇上に林立した旗は63本と圧巻で、闘う仲間が一つになった。

弁護団の指宿昭一弁護士から闘いの現状報告と解決への展望が語られた。川田龍平参議院議員、西川将人衆議院議員(いずれも立憲民主党)、たつみコータロー衆議院議員(共産党)、大椿ゆうこ参議院議員(社民党)がそれぞれJAL争議への関わりと支援連帯・激励のあいさつをした。

現役CAの発言とパイロット(代読)からの訴えで、「ベテラン乗務員を解雇した事が、JALのトリアル続きの現状と無関係ではないこと」が明らかにされた。

参加者がスクラムを組み「解決」のプラカードをかかげ「頑張ろう」を合唱し、会場の熱気は最高潮に達した中でフィナーレを迎えた。

(滝沢)

勝利に向け頑張ろう参加の争議団紹介と挨拶が続いた。

また、福井会場とオンラインで繋がり会場とやり取りができ、元JALCAがいたことも紹介され、より連帯感も強まった。

JHUの山口宏弥委員長が勝利まで闘う決意表明を行い、鈴木圭子客乗争議団長が閉会挨拶を行った。